



ロタウイルス胃腸炎予防ワクチン ロタリックス内服液

当院では、ロタウイルス胃腸炎予防ワクチン(ロタリックス内服液)の接種を平成24年1月から開始しました。ご希望の方はご予約の上、来院下さい。

※他のワクチンとのスケジュール調整でお困りの方は、小児科外来までお問い合わせ下さい。



ロタウイルス胃腸炎の重症化を予防します。 早めのワクチン接種で赤ちゃんを守ってあげましょう。

乳幼児のロタウイルス感染による胃腸炎を予防するためのワクチンです。

ロタウイルス胃腸炎は、激しい下痢やおう吐によって脱水を起こしやすく、けいれんがみられることもあるため、もっとも重症化しやすい乳幼児の胃腸炎といわれています。

また、まれに脳や腎臓などに影響を及ぼすこともあり、注意が必要です。今までは有効な予防策はありませんでしたが、ロタウイルスワクチンの接種(内服)により、感染を予防できるようになります。

ロタリックス内服液の接種は、2回受けてください。

接種時期: 生後6週～24週までに2回接種(1回目は生後20週までに)

2回目の接種は、1回目の接種から4週間以上あけて下さい。

接種金額
1回: 14,000円

飲むワクチンです。

ロタウイルス胃腸炎予防ワクチンは、ロタウイルスの病原性を弱めて増殖させ、精製してからシロップ状にした飲む生ワクチンです(注射剤ではありません)。

ロタウイルス胃腸炎はワクチンで予防可能

感染力が強く、重症化しやすいロタウイルス胃腸炎から小さな赤ちゃんを守るためにWHO(世界保健機関)などではワクチン接種を推奨しています。日本では2011年11月より接種が可能となりましたが、海外では数年前からワクチンの接種が行われ、現在では120カ国を超えています。

その結果、ワクチンを接種した赤ちゃんひとりひとりの重症胃腸炎が予防できるようになっただけでなく接種して免疫がついた赤ちゃんが増えたために、集団内での感染が抑えられる効果がみられてきたようです。

何故早期に接種が必要?

ロタウイルス胃腸炎は母親から受け継いだ免疫がなくなって初めて感染したときが重症化しやすく、ワクチンの接種の目的はこれを予防することにあります。そのため、早めに接種を終わらせることが重要です。

接種をご希望の方は電話予約が必要です (受付時間: 午後1時～4時)
(0865) 67-5010 のあと プッププツと鳴ったら『2240』にお電話の上、ご予約下さい。

